

3. 工事管理のポイント

ヘーベルライト工事は、下地にパネルを取り付け、パネル相互の目地にシーリング材を施す作業です。

ここでは、外壁の標準的な施工方法の注意点を説明します。

日本建築学会編集の建築工事標準仕様書「JASS27(乾式外壁工事)」の、「4節 ALC薄形パネル外壁工事」に材料、工法などの規定があります。本ハンドブックに記載されていない事項もありますので、JASS27に従ってください。

3-1. 施工前の確認事項と関連工事

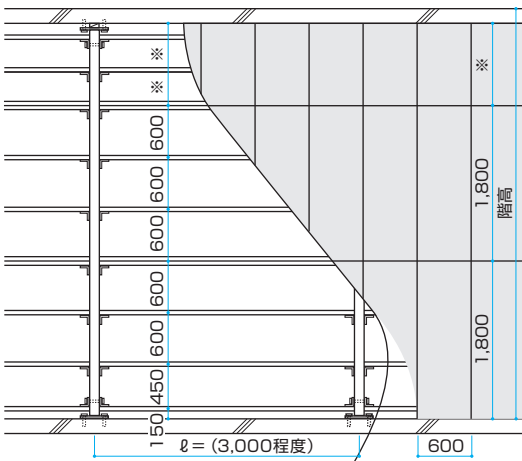
ヘーベルライトの施工前に、足場や外壁の関連工事(間柱、胴縁などの下地材、サッシ取り付け※、板金工事など)が完了していることが必要です。

※ALC用サッシなど後付け出来るサッシや設備類を除く

<現場作業・作業条件の確認>

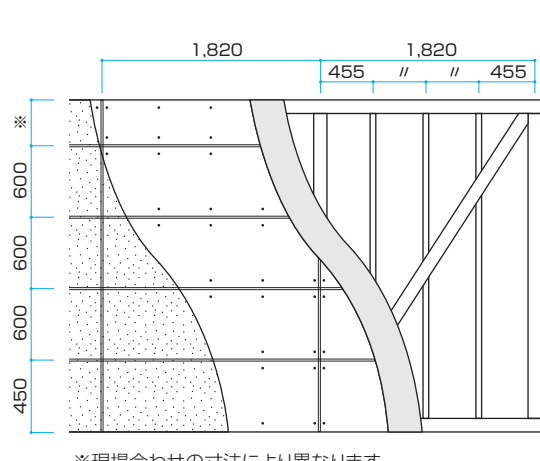
- 足場は所定の施工がされている。
 - 間柱、胴縁などの下地材が計画通り、また精度よく施工されている。
- パネル長さは主に3種類あるので、骨組みの胴縁間隔を確認してください。

鉄骨縦張り(パネル長さ1,800)の例



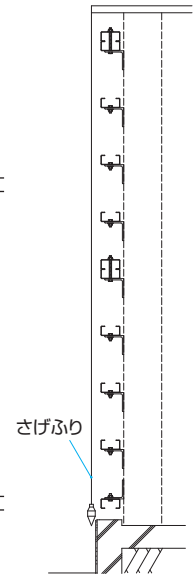
※現場合わせの寸法により異なります。

在来木造横張り(パネル長さ1,820)の例



※現場合わせの寸法により異なります。

下地材に凹凸無いか、
さげふりでチェック



- サッシやフードの取付け枠および水切りは付いている。
- シーリングの範囲をヘーベルライト販売店と確認する。(窓まわり、基礎その他の取合部など)
- 耐火目地材使用の有無を確認する。
- 木造の場合は透湿防水シートの有無を確認する。(木造の場合は透湿防水シート有りが標準です。)

<割付けの決定>

- ヘーベルライトを張る範囲や建物の正面・側面を確認し、パネルをどこから張っていくかを指定してください。
- サッシと取合部の納りを確認してください。

<パネルの種類と枚数のチェック>

- パネル(平パネル、デザインパネル)の種類や枚数および搬入日を必ず着工前に確認してください。
- 追加工事などで、ヘーベルライト販売店に追加依頼をしなければならない場合には、搬入日と必要枚数を確実に指示してください。